

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (699), 課コード (0602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main evaluation table (1. 事業の概要 (PLAN)) with sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	700	課コード	0602	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	湖北駅・北口線の整備		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・交通課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 ■湖北 □新木 □布佐 □全市					
	⑤事業期間	平成20年度 ~ 平成24年度			⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.55人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	773,000千円		当該(開始)年度	(当初)	52,140千円 (うち人件費 5,225千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	円滑で快適な交通流動を確保するため、幹線道路である都市計画道路3・4・14号手賀沼公園・久寺家線と3・5・23号新木駅・布佐線線の整備を計画的に行います。また、事故多発箇所や渋滞箇所については、安全施設の充実や交差点の改良など適切な対策を講じます。			事業目的	湖北駅の交通結節機能を高めるとともに、まちの玄関口に相応しい景観を備え、快適で利用しやすい安全な駅前空間づくりを目指す。					
(3) 事業内容	内容	都市計画道路3・4・8号 湖北駅・北口線を千葉県と連携して整備する。 (市事業) 湖北駅北口駅前広場の新設 整備面積: 2900㎡ (県事業) 都市計画道路湖北駅・北口線の整備 幅員: 18m 延長258m 都市計画道路我孫子・布佐線管部の整備 幅員: 9~17m 延長335m ※県事業についての市の負担 職員1名の派遣と国庫補助金・交付金を除く事業費の30%負担 ※駅前広場部分の電線共同溝連系管等整備費用を負担			当該年度執行計画	・県事業負担金 4月~3月 ・電線共同溝整備負担金					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	回	想定値	実績値
当該(開始)年度	・千葉県事業負担金を負担する。 ・電線共同溝連系管等の整備				直接	整備進捗率		%		80	100
3年後					-					0	0
最終(概ね5年後)					-					0	0
(7) 事業実施上の課題と対応	隣接する千葉県事業の遅れにより、県事業との接続部及び電線共同溝への電線の入溝及び電柱の抜柱が遅れている。				代替案検討	○有 ○無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		【補助対象事業費】 * 工事費 (繰越分) * 【単独事業費】 * 湖北駅・北口線整備負担金		20,574	【単独事業費】 * 湖北駅・北口線整備負担金 * 電線共同溝整備負担金		6,915 40,000				
		合計	44,672	合計	46,915	合計	0	合計	0		
		国庫支出金 補助率 50%	7,010	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
起債 充当率 90%	7,010	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0				
一般財源	30,522		46,915		0		0				
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	130	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0			
換算人数(人)	0.65		0.55		0		0				
正職員人件費	6,175		5,225		0		0				
嘱託職員報酬額	0		0		0		0				
臨時職員賃金額	0		0		0		0				
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	50,847		52,140		0		0				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	513.61千円/%		52,140千円/回								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	都計道3-4-8号は、湖北駅北口線と東西方向の幹線道路である国道356号と接続する駅への連絡道路であるが、幅員が狭く駅前広場・取付街路共に未整備で、大型バスの乗り入れが困難なことに加え、歩道が整備されていないため歩行者の安全性や利便性に課題がある。また、駅北側には、「利根川ゆうゆう公園」を有し、今後玄関口として、市内外からの利用者の増加が見込まれる駅とその周辺の利便性・快適性の向上を図り、交通処理の円滑化を進め安全性と利便性の向上を図ると共に、賑わいとゆとりのある交通結節点空間の創出を図る必要がある。なお地元では、商店主や、地権者を中心に「湖北駅北口明るい街づくりの会」が組織されている。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<その他の内容>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		<その他の内容> 「湖北駅北口明るい街づくりの会」と連携を図り、円滑な駅前広場整備工事を進める。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他		駅前広場整備工場の廃材等適切に処理をさせている。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	80	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	52,140	△1,293	<削減の内容>		<超過理由等>				
事業費削減率(%)		△2.54							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	3.84		○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (701), 課コード (0602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main evaluation table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and financial data across fiscal years 2011-2014.

Main evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) containing evaluation criteria such as necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価 (Post-evaluation) section with status options like 'O現状どおり推進' and 'O拡充'.

Final summary table with columns for '評価コメント' (Evaluation comments) and '改善策及び展開方向' (Improvement measures and future directions).



事務事業評価表（平成24年度）

Table with 10 columns: 事業コード, 課コード, 会計種別, 一般会計, 予算の種類, 政策, 経常, なし. Includes sections for 1. 事業の概要 (PLAN) and 2. 事業の評価 (DO+CHECK).

Table for 2. 事業の評価 (DO+CHECK) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定は適切か?, 効率性.

Table for 3. 事後評価 with columns for 評価項目, 改善案及び展開方向. Includes 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (709), 課コード (0602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要(PLAN)) including sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価項目, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (711), 課コード (0602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 2013-2016.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes status options like '現状どおり推進', '拡充', '縮小', etc.



事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (712), 課コード (0602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main evaluation table (1-8) containing project overview, objectives, content, targets, and implementation details across fiscal years 2011-2014.

Main evaluation table (9-11) containing financial breakdown, unit costs, and performance metrics.

Section 3: 事後評価 (Post-evaluation) with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final summary table with columns for 評価コメント (Evaluation comments) and 改善策及び展開方向 (Improvement strategies and directions).

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (713), 課コード (0602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, goals, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.



事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	715	課コード	0602	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	各駅エレベーター・エスカレーター等の整備		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・交通課	
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	平成18年度 ~ 平成27年度			⑥担当職員数	5人 (換算人数)		1.2人		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	当初	312,002千円	うち人件費 11,400千円		
					(変更後)		340,922千円	うち人件費 11,400千円		
(2) 目的	施策目的・展開方向	誰もが安全で快適に駅施設を利用できるよう、新木駅では、自由通路を整備し、駅南口・北口にエレベーター・エスカレーターを設置するとともに、我孫子駅と天王台駅では、自由通路の整備を検討します。また、駅構内のエレベーターの設置を支援します。			事業目的	各駅入口にエレベーター・エスカレーター等を整備し、駅施設のバリアフリー化を推進することにより移動の円滑化を図り、誰もが利用しやすい駅とする。				
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成11年度に策定した、人によさしい整備計画に基づき、東我孫子駅を除く5駅にエレベーター及びエスカレーター等を設置する。</li> <li>新木駅自由通路設置及び南北口エレベーター・エスカレーター設置事業</li> <li>平成22年度 自由通路及びEV・ESC基本設計</li> <li>平成24年度～平成25年度 自由通路及びEV・ESC実施設計、橋上駅舎設計</li> <li>平成26年度～平成27年度 工事</li> </ul>			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>新木駅南北口エレベーター・エスカレーターの実施設計を行う。</li> <li>新木駅橋上駅舎設計費を負担金として支出する。</li> </ul>				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該(開始)年度	新木駅バリアフリー化に伴う昇降機の設計を行う。				直接	新木駅バリアフリー化設計進捗率		%	0	100
3年後	新木駅のバリアフリー化事業が完了する。				直接	新木駅バリアフリー化工事進捗率		%	0	100
最終(概ね5年後)	設置が完了した駅入口(東我孫子駅を除く)の、エレベーター・エスカレーター及び自由通路の維持管理を適切に行う。				直接	各駅入口(東我孫子駅を除く)エレベーター・エスカレーター及び自由通路の維持管理を適切に行う。		駅入口	0	10
(7) 事業実施上の課題と対応	建築基準法の問題で既存通路の利用が出来ず、通路を新設する計画に変更したため、設置場所や形態、建築確認等の課題について、JR東日本等と協議・検討が必要である。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度	
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
	*	新木駅自由通路及び南北口実施設計		*	新木駅自由通路及び南北口EV・ESC等設置工事負担金	230,000	*	新木駅自由通路及び南北口EV・ESC等設置工事負担金	520,000	
	*	委託料(繰越)		*	駅施設移設等補償費	10,000	*	駅施設移設等補償費	157,500	
	*	確認申請手数料(繰越)		*	新木駅南口自転車駐車場仮移設工事費<10月補正>	8,000				
			*	新木駅橋上駅舎設計費負担金	28,920					
			<明許繰越>							
			*	新木駅南北口EV・ESC実施設計負担金	50,000					
			*	確認申請作成業務委託	2,340					
			*	確認申請手数料	262					
	合計	0	合計	329,522		合計	677,500	合計	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 33%	0	補助率 33%	92,400	補助率 33%	171,600	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 75%	0	充当率 90%	138,600	充当率 90%	313,500	充当率 0%	0	
	一般財源		0		98,522		192,400		0	
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	1		1.2		1.2		0		
	正職員人件費	9,500		11,400		11,400		0		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	9,500		340,922		688,900		0		
(11) 単位費用	0千円/駅入口		85,230.5千円/昇降機数							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)													
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	駅は交通の要であり、誰もが安心して利用ができるようにするため、エレベーター・エスカレーターの設置が必要である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					改善検討 ○要 ○不要			
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他</li> <li>○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった</li> <li>□②市が主導で進めなければ実効性がなかった</li> <li>□③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された</li> <li>□④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した</li> <li>□⑤サービス水準が確保された</li> <li>□⑥サービスの安定供給基盤が確保された</li> <li>□⑦その他</li> </ul>					<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	改善検討 ○要 ○不要		
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①事業計画時に市民の参画あり</li> <li>○②事業実施時に市民の参画あり</li> <li>○③管理・運営に市民の参画あり</li> <li>○④市民の自主的な活動と連携している</li> <li>○⑤市民と共同で事業を実施</li> <li>●⑥その他</li> </ul>			工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	改善検討 ○要 ○不要	
	環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>□①自然環境を生かしている</li> <li>□②生き物と共存している</li> <li>□③手賀沼を意識している</li> <li>□④環境負荷低減に貢献している</li> <li>■⑤その他</li> </ul>			取組む内容			実施した具体的な内容			環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	改善検討 ○要 ○不要	
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	0	目標値(b)(%)	100	目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			達成状況 実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>	改善検討 ○要 ○不要	
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	340,922	事業費削減額(d)(千円)	△331,422	実施予定の対策 ■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託			実施状況 実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	改善検討 ○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)	0.03	計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			達成状況 実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			改善検討 ○要 ○不要	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (716), 課コード (0602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ②実施計画への位置づけ, ③事業主体, ④対象地区, ⑤事業期間, ⑥担当職員数, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ⑨目的, ⑩事業内容, ⑪達成目標, ⑫事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for 現状どおり推進, 拡充, 縮小, etc.

Final summary table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (717), 課コード (0602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ②実施計画への位置づけ, ③事業主体, ④対象地区, ⑤事業期間, ⑥担当職員数, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ⑨目的, ⑩事業内容, ⑪達成目標, ⑫事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for ⑬必要性, ⑭参加・協働の工夫, ⑮環境への配慮, ⑯目標設定は適切か?, ⑰効率性.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他.

Final evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.



事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (1829), 課コード (0602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2013-2016.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	1966	課コード	0602	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 シャトルバスの運行	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		②部課名	建設部・交通課						
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input checked="" type="checkbox"/> 湖北 <input checked="" type="checkbox"/> 新木 <input checked="" type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	平成24年度 ~ 平成24年度			⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.35人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	3,325千円 (うち人件費 3,325千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63402	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	●有 <input type="radio"/> 無					
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、駅や各施設への重要な交通手段であるバス路線の延長など、地域住民や公共交通事業者と連携し、バス輸送力と利便性の向上を図ります。また、誰もが安全で快適にバスを利用できるよう、低床車両の導入を支援します。			事業目的	成田線沿線地区の移動性（公共交通の充実）や利便性を向上。							
(3) 事業内容	内容	成田線沿線地区の移動性（公共交通の充実）を向上させることにより、住みよいまちづくりに貢献する。			当該年度執行計画	バス事業者との調整。							
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標	単位	%	想定値	100			
当該(開始)年度	バス事業者との調整				直接	進捗率	%		0	100			
3年後	シャトルバスの運行				直接	シャトルバス実証運行 (達成率)	%		0	100			
最終 (概ね5年後)	シャトルバスの運行				直接	シャトルバスの利用者数 (年間)	人		0	15,000			
(7) 事業実施上の課題と対応	地域住民や公共交通事業者と連携しながら、利用者数が増加する方法及び路線の検討が必要である。			代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
					*	シャトルバスの検討	0	*	シャトルバス運行調査業務委託	2,000	*	シャトルバスの実証運行 45,000円 (1日単価) × 365日 バス停 40,000 × 15カ所	16,425 1,200
		予算(済)額	合計	0	合計	0	合計	2,000	合計	17,625			
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
		一般財源		0		0		2,000		14,340			
		その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	3,285			
		換算人数(人)		0		0.35		0		0			
正職員人件費		0		3,325		0		0					
嘱託職員報酬額		0		0		0		0					
臨時職員賃金額		0		0		0		0					
事業費 (予算(済)額 + 正職員人件費)		0		3,325		2,000		17,625					
(11) 単位費用 (事業費 / 活動結果指標)	0千円 / **		33.25千円 / %										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	シャトルバスの運行は、成田線沿線地区の移動性の向上に繋がり、市内交通の利便性が向上することで、市内の活性化が図られる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input checked="" type="checkbox"/> その他		＜その他の内容＞ 計画等は市や我孫子市地域公共交通協議会となるが実施主体はバス事業者となる。		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 ＜その他の内容＞		＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 ＜その他の内容＞		市民や交通関係者が参加する我孫子市地域公共交通協議会を中心に市民との協働を図る。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由/期待以下であった原因＞		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 ＜その他の内容＞ 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞			
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜想定どおり削減できなかった原因＞		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	■①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	＜超過理由等＞		
	3,325	—	＜削減の内容＞						
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞		
	3.01		単位	費用単位	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100			
		%	10万円	●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費					

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他 (事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					